

貴族院 第一回 議事速記録號外

明治二十四年一月二十日(火曜日)

〔東京市麴町區内山下町鹿鳴館ニ於テ〕

午後一時三十分開場

○議長(伯爵伊藤博文君) 本日各位ニ本館ニ御來臨ヲ願ヒマシタノハ御承知ノ如ク今曉衆議院ノ出火ヨリシテ遂ニ貴族院モ類焼ニ罹ルノ不幸ニ際シマシテ此不幸ナル御報告ヲ諸君ニ向ツテ一通リ陳述ニ及ビ從ツテ將來ニ於テ我々ガ國家ニ對シテ負フ所ノ立法ノ事務ヲ速ニ繼續シテ參ルコトノ手續ヲ御話シテ申シテ置キタイト存ジマス、今曉ノ出火ノ始末ハ詳細ニハ未ダ報告ヲ得マセズゴザイマスガ大略ノ所ヲ其掛ノ者ヨリ報告ニ及ビマシタ、此報告書ヲ一應諸君ノ清聴ニ入レマシテサウシテ其原因ヲ明ニセント欲シマス、書記官ニ命シテ朗讀イタサセマス、

〔矢代書記官朗讀〕

帝國議會出火ノ儀ニ付上申

明治二十四年一月十九日當直ノ處翌前零時四十分頃巡查三村久松ヨリ衆議院内第四十一號室入口廊下天井ノ一隅ヨリ發火シタル趣急報ニ依リ直ニ現場ニ臨ミタルニ電氣燈線ヨリ青色ノ火氣ヲ發シ居タルニ付迅ニ巡查ヲ指揮シ守衛ト共ニ充分消防ニ盡力致シタル際又々階上政府委員室ヨリ白煙ノ噴出スルヲ認メ直ニ入口ノ戸ヲ打チ毀シ巡查土岐彦八郎ト共ニ入りタルニ同天井西側一隅電燈線ヨリ青色火ヲ發シ室内隅ニ電燈線アル壁間ヨリ白煙吹出セリ依テ巡查ヲ指揮シ漸ク同所丈ハ消止メタルモ既に彼處此處ニ壁間ヨリ白煙噴出スルニ依リ議場ハ如何ト傍聽席入口ノ戸ヲ開キ見タルニ此時已ニ議場各所ノ電燈線發火シ居タリ此際議會備付ノポンプ用意整ヒ候ニ付之レヲ指揮シ消防ニ從事候得共四方ノ電燈線發火シ火勢焰ニシテ天井裏ハ已ニ一面ノ火烟トナリ最早消防ニ從事スルモ到底消火ノ見込無之モノト思料シ玉座議長室ヲ始メ各室ノ緊要書類物品等搬出ニ從事セリ前顯ノ始末ニテ全ク電氣ノ作用ヨリ發火シタルモノト認候依テ別紙巡查手續書相添此段上申候也

明治二十四年一月二十日

帝國議會派出

警部 橋口 常彦

同 山本喜勢治

副申

本月十七日頃ヨリ貴族院正門門柱上ノ電燈消燈後猶ホ赤色ヲ呈シ居タル

貴族院議事速記録號外

明治二十四年一月二十日

帝國議會議場ノ燒失ニ關スル件

ハ何ニカ電氣燈ニ故障ナキヤト怪シミ居タリ既ニ昨夜モ本職等巡視ノ際現ニ見認メタルトモ學理上ノ事故其如何ヲ判別スル能ハス全ク點燈人ノ不注意ト思量シ居候得共今日ノ事アルニ當リ候テハ御參考ノ一端ト思料仕候間此段副申仕候也

始末書

私儀明治二十四年一月十九日當直ニテ翌二十日午前零時ヨリ休憩中同四十分頃巡查三村久松ヨリ出火ナリトノ報知ニ依リ直ニ現場ニ駆付候所四十一號室入口廊下天井ノ一隅ニ電燈線發火致居タルニ付消防ニ盡力中又階上政府委員室ヨリ白煙噴出スルヲ見認メ警部ノ指揮ニ從ヒ直ニ入口ノ戸ヲ打毀シ共ニ立入りタルニ同室天井西側一隅電燈線ヨリ發火シ又室内ノ隅電燈線ノアル壁間ヨリ白煙噴出シ居ルニ付消防ニ盡力一時消火シタルモ既に各室發火白煙院内ニ滿チ到底消防行届カザルヨリ各室御用書類搬出ニ盡力致候此段始末書ヲ以テ上申仕候也

明治二十四年一月二十日

帝國議會派出

巡查土岐彦八郎

始末書

明治二十四年一月十九日當直衆議院巡查詰所見張勤務中翌二十日午前零時四十分頃守衛吏佐藤澤ナル者出火アリ加勢ヲ乞フト申來リタルニ付直チニ現場ニ駆付タルニ同院第四十一號室入口前廊下ノ天井隅ニ於テ發火シ居ルヲ見認メ候ニ付直チニ警部室及休息巡查ニ急報シ共々現場ニ至リ消防ニ盡力仕候折柄又々階上政府委員室ニ發火セシモ漸ク消止メタルニ再ヒ議場ノ天井及ビ各所ノ電燈線一時發火シ到底滅火シ難キニ依リ共々物品搬出シ盡力仕候次第ニ御座候右始末書ヲ以テ上申仕候也

明治二十四年一月二十日

帝國議會派出

巡查三村久松

手續書

明治二十四年一月二十日午前零時四十分頃衆議院ヨリ出火シ貴族院ニ延燒セントスルニ際シ自分ハ貴族院通用門内ニ於テ書類等運搬ナス内不圖該通用門内上部ノ電燈線ニ心付此電線コソ火勢ノ傳通ヲナス者ナレバ切斷スルニ如カスト直チニ二線ヲ切斷致候此段手續書ヲ以テ上申仕候也

明治二十四年一月二十日

帝國議會派出

巡查今井辰三

手續書

明治二十四年一月二十日零時四十分衆議院ヨリ發火シ貴族院共全燒シ殆ト

金子書記官長官舎及會禰書記官長官舎ニ類燒セントスルニ垂トシ益、電氣導線危險ナルニ付キ金子書記官長官舎電氣導線三本及會禰書記官長電線三本切斷シタル義ニ有之候間此段手續書ヲ以テ及具申候也

明治二十四年一月二十日 帝國議會派出 巡查與倉十太郎

○議長(伯爵伊藤博文君) 只今マデ分ツテ居リマスルコトハ今朗讀ヲ致サセマシタ通りデアリマス、誠ニ此帝國議會開會ノ初期ニ當ツテ斯ノ如キ不祥ナル災害ニ罹リマシタノハ如何ニモ遺憾ニ堪ヘザル次第デアルト云フコトハ諸君モ御同感ト存ジマス、併ナガラ箇様ナ不幸ニ遭遇イタシタノモ別段ニ避ケベキ途モ無カッタ譯デアリマスカラ只將來ニ向ツテ速ニ此立法ノ事務ヲ繼續シテ參ラウトスルニ過ギマセヌ、願ハクハ再ビ議會ヲ開キマスコトニシテ其用意モ彼レ是レ掛リマスコトデアリマスガ議會自ラデ無ク政府ガ其責任ニ當ツテ其用意ニ相成ルコトト存ジマスニ付キ、議長ヨリ政府ニ照會イタシテ議場ノ速ニ成立チマスルヤウニ盡力ヲ致ス積リデアリマス、夫レマデノ間ハ實地如何トモスベカラザルコトニアリマスルニヨツテ暫ク休會ヲ致シマス積リデアリマス、何日ヨリ開會イタスト云フコトハ御報道ハ出來マセヌガ成ルベク速ニ用意シテ御報道ニ及ビマス、……只今内閣總理大臣ヨリ箇様ナ照會ヲ得マシタ、

議會會場失火燒失ニ付テハ政府ニ於テ速ニ鹿鳴館ヲ以テ貴族院假議場ニ當テ可成速ニ議事ニ差支ナキ様手配イタス筈ニ候間此段及御通知候也

明治二十四年一月二十日 内閣總理大臣伯爵山縣有朋

貴族院議長伯爵伊藤博文殿

箇様ニ申シテ參リマシタガ此通りノ場所デアリマスルニヨツテ是レ直グ假議場トシテ議事ヲ開クト云フ譯コハ參リマセヌ、尙ホ議事ヲ開ク丈ケノ準備ノ届クヤウニ再應政府ノ方ニ照會チマスル積リデアリマス、夫レデ本日ノ所ハ休會前ニ於キマシテ議事日程モ備ツテ居リマシタケレドモ先ヅ當分ノ間ハ休會ヲ致シマスコトニシマスル以上ハ今日直グ議事ハ勿論ナリマセヌノデアリマス、夫レデ右ノ會議ヲ議場ノ用意ガ速ニ整フヤウシマスルコトハ諸君ニ於テ勿論別段ニ異議ノアルベキコトトモ存ジマセヌニ依テ議長自ラ擔任イタシマシテ政府ト協議ヲ盡シテ速ニ開クヤウ致シマスルコトニ盡力スル積リデアリマス、此段一應御話ヲ申シテ置キマス、凡ソ何日ノ間休會ヲスルト云フコトヲ豫メ御報告申スコトハ出來マセヌト只今申シマシテゴザイマスガ、是レカラ夫レ夫レ手順ニ取掛ツテ見マセヌケレバ兩三日デ出來ルカ或ハ一週間デ出來ルカ分リマセヌニ依テ諸君ニ於テモ其御積リデ御集會ノ御報道ニ及ビマシタトキハ何時デモ御出席ニナル丈ケノ御注意ヲ願ヒタウ存ジマス、サウシマスレバ是レ今日ハ御退散ニ相成リマシテ宜シウゴザリマス、尙ホ序ニ申

シ上ゲテ置キマスルガ只今ヨリ此失火ノ不幸ナル災厄ノコトト從ツテ我々ガ將來ニ於テ此立法事務ノ責任ハ益々怠ラズ、速ニ其手順ヲ盡シテ其事務ノ運ブヤウニ致シマスト云フコトハ諸君ニ代ツテ參朝イタシテ奏問ヲ仕ル積リデアリマスル、

午後一時五十分閉場